

2020年11月09日

【格付維持】

水資源機構

発行体格付： AA+ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

水資源機構は全国7水系（利根川、荒川、豊川、木曾川、淀川、吉野川、筑後川）で、広範な利水・治水政策を執行する唯一の独立行政法人。大規模な自然災害や危機的な渇水など水資源を巡るリスクが顕在化するなか、政策上の重要性は極めて高い。格付は政府の信用力を強く反映し、日本ソブリンと同格としている。

政府は需要主導型の水資源開発の促進から、リスク管理型の水の安定供給へ、水資源政策の重点を移しつつあり、全国7水系を対象とした水資源開発基本計画の抜本的な見直しに着手している。この一環として、渇水が頻発する吉野川水系を先行させ、「吉野川水系における水資源開発基本計画」を2019年4月に閣議決定した。今後、他水系についても計画を見直していく。ダムや用水路などを建設・管理し、既存施設の機能向上や更新、改築を手掛ける機構の重要性は極めて高いと判断している。

ダムや用水路などの建設費用は国と利水者が負担する。利水者のほとんどは地方自治体で資金回収のリスクは小さい。長期間にわたり財務収支の黒字を継続してきたため、利益剰余金が積み上がっており、財務基盤は良好だ。

【格付対象】

発行者：水資源機構

| 名称 | 格付 | 格付の方向性 |
|-------|---------|--------|
| 発行体格付 | AA+（維持） | 安定的 |

| 名称 | 発行総額 (億円) | 発行日 | 償還日 | 格付 |
|-----------|--------------|-------------|-------------|---------|
| 第15回水資源債券 | 40 | 2017年12月20日 | 2020年12月18日 | AA+（維持） |
| 第16回水資源債券 | 40 | 2018年12月20日 | 2021年12月20日 | AA+（維持） |
| 第17回水資源債券 | 50 | 2019年12月20日 | 2022年12月20日 | AA+（維持） |

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

| | |
|----------------------------|--|
| 信用格付業者 登録番号 | 株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。 |
| 主任格付アナリスト | 守屋 敦 |
| 信用格付の付与について 代表して責任を有する者 | 住田 直伸 |

| | |
|------------|------------------------------|
| 信用格付を付与した日 | 2020年11月09日 |
| 主要な格付方法 | 政府系機関等の格付の考え方 [2019. 11. 12] |

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

| | |
|-------|-------|
| 格付関係者 | 水資源機構 |
|-------|-------|

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

| | |
|------------|---|
| 利用した主要な情報 | 決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 |
| 品質確保のための措置 | 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。 |
| 情報提供者 | 格付関係者 |

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。